

外部評価報告書

令和2年度 泰明小学校 外部評価報告書
外部評価委員：山本佐江子委員長 佐藤正志副委員長 藤井千恵子 和田 利次（敬称略） 報告書作成者：山本佐江子委員長
評価時期 令和3年 2月
<p>【幼稚園について】</p> <ul style="list-style-type: none">・例年同様、保護者から高評価は喜ばしい。特に、「通園を楽しみにしているか」については、100%満足とのこと。一方で、園と保護者の連携については、更なる情報伝達が必要かと思う。積極的情報交換を。口頭だけでなく、ホームページ等も活用するとよい。・小学校で本格的にICT教育が始まるので、それを見据えた泰明ならではの幼稚園教育をご検討いただきたい。・来年度は年長組不在なので、今まで引き継がれてきた「子どもが子どもから学ぶ泰明園児のよい伝統・生活習慣」が途切れないよう、ご配慮・ご尽力下さい。・「3年保育」に向け、先生方と保護者・OB、地域と、本気で取り組んでいきたい。 <p>【小学校について】</p> <ul style="list-style-type: none">・全体的に評価が高く、着実な教育活動が窺える。・教育活動の見える化に努めたことが読み取れる学校評価かと思う。“泰明アイデンティティ”の確立を目指してほしい。泰明だから実現できることを教職員一丸となってそれを目指してほしい。・様々な行事や活動が中止になる中で「今だからできる事をやろう」と自ら行動され、児童や保護者に示しそれを継続されている先生方。校庭の花や HP の泰明ダイアリーは心が和むし、なかなか公開などが行われない中、これまで以上に情報発信してくれ、学校生活の様子がわかり感謝する。・先生方が、クラスや学年を越えて先生方が全ての児童を見て下さっていることを、本当にありがたい。泰明の保護者は、先生方の教育・生活指導に口を出し過ぎと感じる。泰明を選んだからには、先生方を信じて学校教育に我が子を預け、私たち保護者は家庭教育に責任を持つ、その上で子ども達の健全な育成のために情報共有して協力し合う、という姿勢を忘れてはいけないと思う。・理数教育、英語教育、ICT プログラミングなどを謳う特認校もあるが、泰明の良さの一つとして「本物に触れる機会がとても多い」ということを感じる。画廊巡りも、街探検も、銀座には本物がたくさんあり、泰明にはたくさんの「本物の方々」が来校して子ども達にふれ合って下さるので、本当に貴重なありがたい機会である。子ども達の将来を左右することが大いにあり得る。同様に、泰明の保護者には、様々な分野でご活躍されている方、つながりをお持ちの方が多数いる。食育、防災教育、安全教育、ICT・プログラミング教育、スポーツの体験、将来の職業に関する教育、政治やお金に関する教育など、多種多様・多彩に展開できるのではないか。本物に触れられ、まさに新学習指導要領のごとく、使い方・やり方次第で主体的に深く学べて、必ず子ども達のこれからの生きる力につながると思う。是非生かしたい。・年度当初より感染防止対策を徹底し続け、コロナの不安の中で子ども達の心に寄り添い、保護者の心に寄り添い続けて下さっていること、心より感謝。世間では医療従事者への感謝

がクローズアップされている昨今だが、毎日子ども達と間近で接し、時にはスキンシップもしながら教育をして下さっている教職員の皆さまも同じように、命がけのお仕事と感じる。先生方も子ども達もみな健康で本日まで来られたことに感謝しております。質の高い学校教育、安全で楽しい学校生活のために、先生方は時間も労力も惜しまずご尽力下さっておりますので、先生方の環境もより良くなることを願う。またPTAとしてできる限りの事を務めさせていただきたい。

- ・保護者の自由記述の中に教師からの子どもへの第一声の在り方を考えるべき指摘がある。一方で先生方のアンケートで重点目標1「児童は相手に応じた正しい言葉遣いをしていますか」の問いに10人の先生が、あまりできていないと回答している。先生方の子ども達への言葉かけの裏返しではないか。美しい日本語は、まず先生方の口から発してほしい。

- ・保護者アンケートは、全体を通して肯定的な回答が多くてよい傾向。特に、設問16のコンピュータ、図書室は肯定回答が例年になく高評価だった。ズーム、リモート等の活用が、奇しくもコロナ禍での対応のインパクトが強かったのか。いずれにしても、今後、タブレットの活用も併せて、さらに発信をしてほしい。また、ICTに依存しすぎないように、学校図書館の活用もより一層進めてほしい。

- ・「確かな学力」について、児童の二分化を分析しているが、中教審の「個別最適な学び」と関連付けて検討すべき。

- ・通知表については、教師の労働環境から議論することではなく、あるべき評価の姿という視点で議論を。時間的、精神的に余裕ができることも確かにあるが、余裕ができる分だけ学習指導や学習活動の質が向上し、評価の精度も高まるもの。評価の信憑性、妥当性、公平性を担保するという意味からも一考の価値がある。

- ・教育委員会には、「特別教室にプロジェクターを」「教室のICT環境整備を」という現場の声に是非応えて欲しい。

- ・地域「銀座」を生かした教育活動についても高評価が嬉しい。今後も、140周年の時のように、地域協力者との連携を継続して欲しい。